保護者の方へ

岡山県教育委員会は、子どもたちが性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないよう 「生命(いのち)の安全教育」を推進しており、このリーフレットは、その内容に基づいて小 学生向け(※)に作成したものです。

子どもが受けた性暴力被害は、大人が早期に気付くことが重要です。被害の早期発見、適切

な相談につなげるためにも、家庭内でコミュニケーションをとり、何か気になるこ とがあれば学校や、性暴力被害者支援センター「おかやま心」などの関係機関に 相談してください。

また、岡山県警察HP「性暴力から子どもを守るために」も参考にしてください。

※中・高生向けリーフレットも作成しております。

QRコードからご覧ください。







性暴力被害にあった時…

ひとりで悩まないで

~ 小さなことでも話してほしい~

大切なあなたのこころとからだともして「これから」を一緒に考えていきます。

秘密は守ります

専門の相談員が 相談に応じます

ご本人の意思を 尊重します

必要に応じて 警察・裁判所などへ 付き添います

性暴力被害者支援センター

犯罪被害に 精通している

弁護士を紹介します

産婦人科や 精神科へ同行します

医療費等を 助成します

大人だけでなく、 子どもも相談できます

全国共通 短縮ダイヤル > 48891 (はやくワンストップ) おかやま心 > 4086-206-7511

24時間つながります(夜間休日は国のコールセンター対応)



岡山県人権教育推進マトリックス会議(今和6年3月作成)

職員課/高校教育課/義務教育課/特別支援教育課/保健体育課/生涯学習課/人権教育・生徒指導課

問い合わせ先 岡山県教育庁人権教育・生徒指導課 〒700-8570 岡山県岡山市北区内山下2-4-6 TEL:086-226-7612

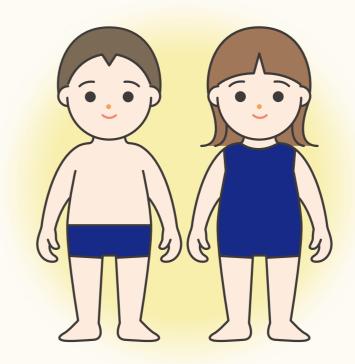
小学生の みなさんへ

たいせつ

大切なここると

から潤を守るために

~あなたの からだ と こころ は あなただけのもの~



水着でかくれるところは

自分だけの

大切なところ

水着では かくれないけど □や顔も大切だよ







さわらせ ない



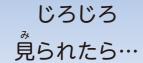
友だち の 大切 な ところを



さわら ない

こんなときどう思う?

大切なところを さわられたら…



友だちは「あそび」って 言うけど…







大切なところを さわられたり、 いやな気持ちになったりしたときは…





「いやだ」と言えなくても

にげよう

_{きも} いやな 気持ちのときは そうだん していいよ



安心できるおとなに

はなそう



大切な自分を守るために考えよう

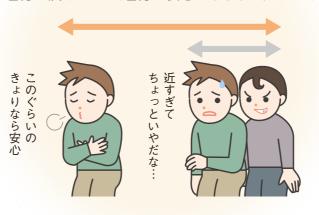
人との「きょり感」って?

体のきょり感

自分の体は自分のものだから、自分と他の人とのきょり は自分で決めていい。自分が安心できるきょりをとろう。



自分の気持ちや考え方は自分のものだから、どんな気持ち





安心できる体のきょりも、心のきょりも、人それぞれ。

みんな ちがうから 自分を守るための「きょり」はあなたが決めていいのです。 自分の「きょり感」を大切に!

SNSを使うときは気をつけよう

SNSで知り合った「小学生」。 やりとりをするうちに仲良く



▶実際に会うことに

会ってみると、思っ ていた人とまったく ちがう大人だった 上に、車に連れ込ま れそうに…





「はだかの写真も 送ってほしい」と



SNSで、見えない相手とつながることの危険について考えてみよう。

自分の「きょり感」が守られなくていやな気持ちになったときや、SNSなどでこわい思いを しそうになったときにも「『いやだ』と言う」、「にげる」、「安心できる大人に話す」ようにしよう。

\ この動画も見てみよう /

文部科学省「生命(いのち)の安全教育」

低・中学年向け▶





▶ 写真を送ることに